

柏原市

共に暮らす安全安心なまちづくりを目指して  
～市内防犯灯LED化事業～

はじめに

柏原市では「市内の防犯灯LED化事業」の取組を始めました。

防犯灯のLED化を行い、環境改善や視認性の高いLED照明により犯罪防止効果のアップを目的として事業を計画しました。

モデル事業の実施

現在、世界的に地球温暖化問題が取り上げられています。わが国においても政府による対策案が講じられ実施されているところです。

柏原市においても地方自治体が行なうべき環境改善の一つとして、資源、エネルギーの無駄使いを排除し、再利用やリサイクルを推進していくことが循環型社会を構築し地球温暖化を防止する基本となりうると考えています。

そのひとつの施策として柏原市では市内防犯灯のLED化を実現するために、まず市内にモデル地区を定め、モデル事業を実施しました。

市内約6,000灯の防犯灯と1,000灯の街路灯すべて

をLED化することにより、

- ・地球温暖化対策として約280 t / 年のCO<sub>2</sub>の削減が実現され、杉の木に換算すれば、約20,000本分の空気浄化作用に相当
- ・経済効果として25.6百円が7.5百円になり約18.1百万円 / 年の電気料金の節約
- ・LEDで視認性をアップして防犯防止
- ・LED化することにより害虫を寄せつけず、従来の水銀を使わない地球にやさしい環境

などの効果が得られると予想されます。

以上のことを踏まえ、モデル地区の設定を行うこととしました。

モデル地区の選定にあたっては、JR柏原駅前の大正東地区自治会よりモデル地区としての協力を行いたいとの要望書が提出されました。

大正東地区においては駅前であり通勤通学の経路となっており、また地区内には小学校も隣接しておりスクールゾーンにも位置付けられているなどの条件により、モデル事業として適切な地区であると承諾をしました。

LED防犯灯器具はLED防犯灯を開発販売しよ

柏原市大正東地区まると防犯灯設置例（設置前後）

従来（水銀灯・蛍光灯）



LED防犯灯設置後





うとする企業が自社の製品のマーケティング調査も兼ねるといことで自治会に対し、製品の価格助的援助を行い、市は自治会への助言や補助金を行なうとして協定を結びました。

このことにより、大正東地区自治体、企業、柏原市の三者によるモデル事業の実施しました。

モデル事業を実施することにより、アンケートの実施（明るさ・防犯等）、製品の検証等を行い、今後の市内LED防犯灯補助実施要綱を作成してゆきます。

### モデル事業アンケート結果

モデル事業を終了後、自治会の協力を得て、アンケート調査を行いました。

住民の方のアンケート調査結果によると

- ・ 広範囲に明るくなり、見通しがよくなった
- ・ 以前より明るくなり、安心感が増した
- ・ 家の中まで光が入ってこない（直進性）
- ・ 虫が集まらなくなった
- ・ 道路が均等に照らされ、安心感が増した

等、LED防犯灯への期待の高さが伺われました。

その一方、

- ・ 設置間隔が広い所もあるので、場所により暗い所がある
  - ・ 少し眩しすぎるので、もう少し安堵感がほしい
- 等の意見もあり、今後の改善、工夫が必要である点もありました。



### モデル事業を終えて

モデル事業を通じて、地元住民の方々の地球温暖化に対する認識が深まったとともに、今後、維持費節減により自治会活動の他事業への展開、循環型社会の実現ができるものと確信しています。

また、今回のモデル事業を通じて、ご協力いただいた自治会のまとまりと、行政との協働の実現が図れたことは柏原市の目指している「市民協働のまちづくり」にも繋がるものと感じております。

また今後の課題として、市内LED防犯灯化推進に向けての財源確保が必要となってきます。しかしながら、環境関係の補助金メニューは案外少なく、今後の補助制度の確立を望むものであります。

